

## 助動詞基礎D-7

☆『1人称の強い気持ち』の助動詞“should”

□ You should study English hard .

□ He should not have a cell-phone .

※ You must study English hard .

※ “should”は、「助動詞」“shall”の過去形だがそれはカタチの上だけで、「～すべき」という意味の“まったく別の助動詞”だと考えてよい。ただし「過去形＝妄想形」であるので、「かなりやきもきしながらの、～するべきだ・～しなよ」という表現になる。

※ なんとなく“must”と意味合いが似ているが、“must”が相手の（主語の）心の中からの「～しなければならない」という『義務感・使命感』への自覚を促す表現なのに対して、“shall”や“should”はあくまでも話し手である私の心の反映としての「～するぞ」や私の常識を判断基準としての「当然～すべき」という表現になっている。

1, 次の英文を、“should”を使った文に書き換えなさい。

① You clean your room at once .

.....

② You don't play in this room .

.....

③ She studies English very hard .

.....

④ We don't play baseball in this park .

.....

⑤ I study math every day .

.....